

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 17 日(2022.8.17)

【公開番号】特開 2021-159636(P2021-159636A)

【公開日】令和 3 年 10 月 11 日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-049

【出願番号】特願 2020-67138(P2020-67138)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 8 日(2022.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動手段により可動可能な可動体と、前記可動体を可動可能に支持する支持部材とを有し、
前記可動体が移動する装飾部材を備え、

前記装飾部材は、

前記可動体として、演出を実施しない演出待機状態を有する第 1 可動体及び第 2 可動体と
—

前記第 1 可動体を駆動する前記駆動手段と、を有し、

前記第 1 可動体及び前記第 2 可動体は、互いに係合する係合手段を有し、

前記係合手段は、前記第 1 可動体が、前記第 2 可動体に対して相対的に移動可能な移動範囲を規制し、

30

前記第 2 可動体は、前記駆動手段の駆動力が前記第 1 可動体を經由して当該第 2 可動体に
伝わることで作動可能となり、

前記第 1 可動体及び前記第 2 可動体が前記演出待機状態から、前記駆動手段の駆動により、
前記第 1 可動体のみが前記移動範囲を移動した後、前記第 1 可動体及び前記第 2 可動体
が共に移動することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0004】

しかしながら、従来、遊技機は、市場において新機種が断続的に求められており、新機
種に取り付けられる遊技装置も改良が求められている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

50

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、改良された遊技装置を有する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような遊技機を提供する。

本発明は、

10

駆動手段により可動可能な可動体と、前記可動体を可動可能に支持する支持部材とを有し、
前記可動体が移動する装飾部材を備え、

前記装飾部材は、

前記可動体として、演出を実施しない演出待機状態を有する第1可動体及び第2可動体と
、

前記第1可動体を駆動する前記駆動手段と、を有し、

前記第1可動体及び前記第2可動体は、互いに係合する係合手段を有し、

前記係合手段は、前記第1可動体が、前記第2可動体に対して相対的に移動可能な移動範囲を規制し、

前記第2可動体は、前記駆動手段の駆動力が前記第1可動体を經由して当該第2可動体に
伝わることで作動可能となり、

20

前記第1可動体及び前記第2可動体が前記演出待機状態から、前記駆動手段の駆動により
、前記第1可動体のみが前記移動範囲を移動した後、前記第1可動体及び前記第2可動体
が共に移動することを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

30

本発明によれば、改良された遊技装置を有する遊技機を提供できる。

40

50